

テレビ電話とバイタルセンサーによる在宅健康管理の取組

日々の健康管理に役立っています。



保健婦が日々のデータをチェックしている様子

毎日の測定データを保健婦が確認し、健康が損なわれるような兆しが見られたら、利用宅を訪問するなどして、健康相談、栄養指導等を通じた疾病予防・早期発見に努めています。

さらに、在宅介護支援センターでは1人暮らしの老人や老人世帯・在宅介護支援を受けている高齢者などの日常の健康状態を把握し、一層きめの細かい介護サービス提供に結びつけています。

「テレビ電話での遠隔診療」に役立っています。

「テレビ電話での遠隔診療」が平成11年4月7日から始まりました。これはテレビ電話でかかりつけ医師の診察を受け、さらに薬を自宅まで配達してもらえるサービスです。現在は双葉厚生病院、葛尾診療所、奥秋医院で提供しており、今後はほかの医療機関にも拡大していきます。日々の測定データは、かかりつけ医師がコンピュータネットワークを通して参照できるようになっているため、診察をする上でとても参考になります。



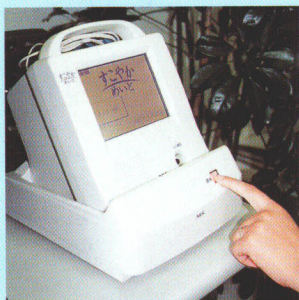
生体データを画面で確認しながらTV電話で診察している様子

緊急通報がボタン一つで可能となります。

急に気分が悪くなったときなど、「すこやかめいと」の緊急通報ボタンを押すことにより、あらかじめ定めておいた緊急時通報先に自動的に連絡が行きます。

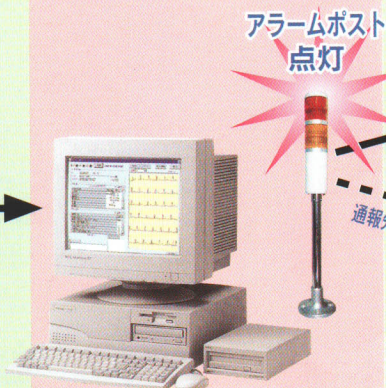
バイタルセンサーを利用した緊急通報のしくみ

端末利用者宅



通報ボタンを押す

役場内センター



通報を受信

緊急通報先



通報先1



通報先2

緊急メッセージを伝達